

2011. 03. 12

21時 中安 自・事一千葉市若葉区

新建千葉の皆様、こんばんわ。

大地震が起きてから一日半が過ぎました。ご存知のように東北地方では甚大な被害が発生しています。千葉では銚子や旭市では津波被害により人命が失われました。また、湾岸埋立地域では液状化が広範囲に起こっているようです。これまでお手伝いさせて頂いた方々に連絡を取りようやく午後一番に建物を含めて無事を確認することが出来ました。そのため土日に開催の大阪での全国幹事会は欠席しました。ただ、今後の生活に影響を及ぼす被害は発生しているようです。

皆様の廻りではいかがでしょうか。状況をお知らせいただければありがたいです。特に外房を含めた海岸地域やがけ崩れが起きやすい山間地域ではどのような被害が発生しているのでしょうか。お忙しいとは思いますが、お知らせいただければ幸いです。市原のコンビナートやJFEの火災は納まったのでしょうか？身の廻りで見たことで結構です。

23時 赤塚 自・事一千葉市美浜区

大変な事になりました。地震、大津波と東日本が壊滅。皆さんの家は、会社は大丈夫ですか。

私の住まいは千葉市の埋立地のニュータウン(幕張副都心の千葉よりの町)です。家の方は11階建のSRCマンションの10階ですが食器棚の食器が飛び出して割れてしまう、靴箱の靴が飛び出してしまふ、本箱が倒れ本が散乱した程度で済みました。家の方はその日に復旧できました、が余震がつきよく眠れませんでした。事務所は、家から10分程度のところにあり、鉄骨3階建ての3階部分の12坪の事務所が、足の踏み場が無いくらい書類と本が落下、パソコンも落下、トイレのドアの前に建築雑誌が落下して扉が開かない。スチールの棚が、折曲がってしまった。当時は当事務所の2階の別室でpm1:30から会議をしていた。地震の時は、外に出て避難していました。2回ありましたね。その後打ち合わせを重ねpm5頃に3階に事務所の戻ったらこの状態、たいしたことはないだろうと思っていたらとんでもない状態でした。本、書類、紙類の整理して、歩けるスペースを確保、パソコンを机にもどして作業の出来る状態にはしたが、グジャグジャ状態はかわらず。その日は家に戻ってかたづけを手伝う。3月12日に片付けをはじめるが収納棚を作らないと片付けられないので、作ろうと車で材料を買いに移動したところ、ホームセンターは、シャッターが閉まっている、収納家具を作る材料が手に入らない。周りを見ると被害状態がひどいところがあり、この機会に取材をときました。本当はそんな事をしている余裕は無いのですが。カメラを持ち出して撮影、そうしたらあっちもこっちも近隣の被害がひどいのびっくりでした。いたるところで液状化の噴出で泥の山になっています。道路もあちらこちら陥没したり、亀裂が10cm程段差になったり、電柱が倒れそうにおじぎをしています。幕張ニュータウンのパチオス地区も、建物の地面足元周りが、亀裂が入って地盤沈下があり2cmから5cm地面が下がり口あき状態、近くの消防署車庫のシャッターの前が、20cm地盤が下がり段差になっている。地震の時直ぐに、車庫から移動して外部に出した事が幸いしたと、下手をすると消防車が室内に閉じ込められるところだった消防隊の方が話されました。コンビニに行っても品物が無い状態、水関係が品切れ。3月12日の15時頃も、高速道路は進入禁止で道路は渋滞、買い物の近道と、高速道路入り口付近を通ったら30分かかって5m進まない。しょうがないのでニュータウンして遠い道が今日は近道だった。と今日はこんな一日でした。明日には棚の材料を手に入れて月曜日には通常仕事に戻さないと時ばかりあせります。皆さんのところが、たいしたことはありませんように、お祈りいたします。



2011.03.13

13時 鈴木 自—千葉市花見川区 会—千葉市中央区

ニュースを見ていますが、被害者がどんどん増えていくこと、恐ろしく思っています。皆様やご家族は無事だったのでしょうか？私のほうは、宮城や福島の内が無事であることを何とか確認できました。といっても直接の連絡が取れず、今の状況がわからず、心配な状況は続いています。私も午前中に周辺を調査に行き、皆さんに報告をしてもらったかどうかと提案をしようと思っていたところでした。この地震、津波さらに原発の危険性まで生じている大変な災害に恐ろしさを感じているとともに、これからの復興に、これから私達は何ができるか考える必要があるとも思っています。私のほうは、地震時には「きぼーる」から前の歩道に出てきた所でした。歩いていたので、最初、何が起こったかわからず、皆さんが何か叫んでいたのが、病人が出て救急車でも呼んでいるのかと思いました。すぐに異常な揺れを感じ、周辺を見回すと中層の建物がかなり揺れ、倒れるのではないかと心配でした。あの揺れを見て、しかも形状が違う建物の揺れ方が違うのを見て、間隔の狭いexpjや建物と建物をつなぐ上空の渡り廊下や橋の安全性を再度見直す必要があるのではないかなどと感覚的に思いました。ちなみにすぐ前にあった超高層のマンションはほとんど動いていないように見えました。職場に戻ると、テレビが落ちて破損、書類や棚の上の文房具なども落下し足の踏み場もない状況でした。帰りは電車は止まっていたので、幕張まで歩くことにしました。千葉駅から概ね1時間40分で帰宅、多くの人たちが同じように歩いていました。実は近くにかなり古い瓦葺の木造住宅があり、倒壊が心配でしたが何とか建っていたのでほっとしました。携帯や電話が繋がらない状況、電車が止まっている状況の中での対応本当に難しいですね。今朝、周辺を調査してきました。自宅及び庭には被害はありませんでしたが、周辺の海岸を埋め立てたエリアの液状化が至る所で生じていました。公園のベンチが陥没しており、同じように住宅に起こった場合のことを思うと恐ろしくなります。さしあたり何枚かの写真を添付します。



14時 稗田 自—山武市 事—東金市

自宅は山武市の成東海岸なので、11日(金)の夜は小学校の体育館に避難しました。12日(土)の朝に一時帰宅の許可が出たので自宅の確認をしました。家に入る道路は巢没していましたが、敷地内は幸運にも被害はありませんでした。数件先には床下浸水だろうと思われる家も何軒かあります。敷地の高さのわずかな差が明暗を分けた感じです。午後津波注意報に変わったので帰宅した直後に停電も復旧し、昨夜は睡魔に襲われながらも熟睡はできずに過ごしました。今朝13日(日)に海岸に犬を連れていってみました。穏やかなすんだ海と青空でした。砂浜は均したように平らで泥をかぶった駐車場やえぐられた花壇などを見ない限り絵のような美しさです。海岸沿いを蓮沼から九十九里まで車で走ってみました。木戸川、作田川の両岸が特にひどい状況で、車が塀の上に乗っている家もありました。濡れてしまった車や農機具、農産物などが始末する光景が続いていました。道路脇に濡れた布団や電化製品などが積み上げられてすれ違いもままならない状況で、消防団と土木工事屋さんが道の泥を取り除く作業に追われていました。揺れ方の違いかもしれませんが、屋根の瓦は千葉県東方沖地震の時は軒並みに被害を受けたのですが今回はほんの一部を除いて被害を受けていません。地盤の液状化も私の家の周りでは見ていません。私の家は山武市と九十九里町との境の最も海岸に近いところですが海水は成東海岸十字路で県道・飯岡一の宮線まで、木戸川付近では飯岡一の宮線を越えたようです。

17時 竹下 自—茨城県取手市 事—柏市

国難。大変なことになってしまいました。今後も震度7程度の余震も懸念されています。大事のないことを心から願っているところです。

19時 加瀬澤 自・事一千葉市若葉区

私の家は千葉市の高台にあり、地盤の良い所なので家の廻りはほとんど被害は有りません。停電せず、ガスもほどなく復旧しました。ただしコンビナートの火災の煙は自宅からよく見えました。有害物質が降下するらしく、特に雨が降ったら体を濡らさないようにとのことです。海岸近くの埋め立て地は地盤の液状化がひどく、道路や敷地にヘドロが噴出しています。私の建て主の家も液状化のため敷地が6~7センチ不動沈下しました。私としてはかなりショックです。井戸水を使っており、今日設備業者と行きましたが、復旧できないようなので水道に切り替えることにしました。工事が終わるまでポリタンクを使うことになりました。トイレもバケツで流してもらいます。建物とはもかくとりあえず生活のできるようにすることが先決です。他の建て主さんでは瓦屋根が落ちたお宅も有りました。当面シート被せです。今回、地盤の良しあしで地震被害に相当違いが生ずることがつくづくわかりました。岩瀬さんは谷津の埋立地に居住していますが、ライフラインは一時全部停止だったそうで、避難所で過ごしたとのことです。現在は自宅に戻っています。ライフラインも復旧したそうです。相馬に住む娘の和子さん一家も無事とのことです。

23時 西沢 自一船橋市 事一東京都港区

それぞれがご無事でなによりです。私は、電車が不通で、新橋の事務所に一夜を明かし昨日帰還しました。事務所は6階建ての旧耐震ですが、かなりの揺れで、今にも床が落ちそうなほどでした。一方、大田区の知人の木造2階建ての家はあまり大きな揺れがなかったとのこと。この違いはなにか？動的解析の倒立振り子の原理から言っても階数の少ないほうが構造にかかわらず揺れが少ないのでしょうか？どなたか応答レスポンスのわかる方がいればコメントください。

23時 高橋 自一茨城県つくばみらい市 事一柏市



私は、地震発生時には柏の事務所にいました。事務所はS造4階建てのワンフロア10坪程の小さな建物の4階にあります。いわゆるペンシルビルです。地震はずいぶん長く揺れていたように思います。2~3分ぐらいだったでしょうか。グラグラと揺れている時は、壁につかまりながら本棚を押さえていましたが、大きく左右に揺れて他の本棚や机が倒れファイルや本が散乱して、めちゃくちゃになってしまいました。足の踏み場も居ない状況です。未体験の大きな地震(震度5強)でしたので混乱してよく記憶にないのですが、短時間に2度(宮城沖と茨城沖)の大きな地震があったと聞いています。事務所の建物には、大きな損害はなく外壁の一部R壁のガラスブロックの目地モルタルの剥落

があった程度ですみました。自宅(築20年の木造2階建)は茨城県つくばみらい市にあり、この地域は震度6弱だったと報道されています。地震の直後、自宅が心配になり、子供や親にメールや電話を入れましたが全く通じず、こんな時はとても心配になりますね、倒壊やケガをしているのではと。情報がないのは不安感を倍増させます。状況が分からないので、とりあえず事務所の散乱状態をそのままに、車で自宅に帰りました。帰り道に柏神社があるのですが、石の大きな鳥居の棟木が落下していました。また、一部停電していてスーパーの照明が消え、道路の信号が点いていませんでした。ビルや住宅で大きく損壊している建物はありませんでしたが、和瓦の棟が壊れている住宅は、多数見かけました。自宅は、幸い建物の損傷は無く、家族も無事で物の落下程度ですみー安心しましたが、余震が大変多くて、不安感もありよく眠れない一夜でした。妻が勤務している中学校では、大きな地震に子供たちがパニック状態で大泣きする子供もいて大変だったと、話しています。ショックを受けた子供たちや被災された子供たちの心のケアも大切のようです。机や棚のものが飛び出し、石膏像やビーカーなどが落下し破損、仕上げモルタルの剥落、武道場(プレハブ)が変形し使用不能になったり、大きな被害がでたようです。TVで各地の被害状況を見ていると、あまりの被害の大きさに心が痛みます。いまさらですが、自然災害の恐ろしさと、人間の無力さを感じます。また、自分も場合によっては、同じ状況になりうると考えると他人ごとと思えず、やりきれない思いです。とりあえず、散らかった事務所を片付けます。

2011.03.14

0時 矢崎 自・事一習志野市

日頃から、何かといろいろお世話になります。それぞれの地震レポートは大変役立ちました。実は、先ほどガソリンスタンドへ行きましたがどこも閉まっていた。帰宅後の今、何気なくパソコンを立ち上げメール受信トレイを見て、赤塚さんのレポートでなるほどと納得しました。被害状況ですが、自宅2階の屋根の棟瓦(雁

振り)とのし瓦が2.4mほど蛇行状態で外れてしまいました。棟方向が同じ近所の5軒共そっくりの状態です。対角方向の棟は築年数が古くても全く動いていません。事務所部分のパラペット瓦の落下を一番心配していましたがこれは無事でした。室内の書類等の散乱は思ったより少なかった割には、片付けに半日かかりました。私の敷地と前面道路は目視では気がつかない程度の変化ですが、周辺は、15メートル海側の道路からは、液状化現象が現実化して、U字側溝が隆起又は陥没して大量の砂が吹き出てきました。通りによっては20から30センチ厚の吹き出た砂で舗装面が見えなくなりました。一番陸側に位置する私の町内の袖ヶ浦四丁目では、被害軒数が少ない方ですが、海寄りの袖ヶ浦五丁目、六丁目(京葉道路より海側)、更に、香澄、秋津地区では、道路やU字溝、宅地そのものの沈下、隆起、亀裂などが広範囲に見られ不動沈下の建物、門、塀、カーポート、等の沈下、倒壊が多数あります。又、一定の方向に30度前後傾斜した電柱は多数あり電線が地上近くまで垂れているところもあります。学校のグラウンドや公園広場には、水が引くまでは一時大きな池があちこち見られました。自動車の入れない道路が多く徒歩でないとみまわれませんでした。昭和44年からこの地に住んでいますが、液状化被害を見たのは初めてです。

1時 長房 自・事一千葉市美浜区

千葉市美浜区の液状化の著しかった画像を取り急ぎご報告します。我家はなんとか無事でした。



19時 小島 自一千葉市若葉区 東総工業高校一旭市

千葉県旭市飯岡町の津波被害の画像です。

http://www.youtube.com/watch?v=rDIJqEULHNI&feature=mfu_in_order&list=UL

撮影者は私ではありませんが、ユーチューブで見つけた画像です。

撮影場所は、千葉県旭市飯岡町行内

(<http://maps.google.co.jp/maps?hl=ja&tab=w1&q=%E5%8D%83%E8%91%89%E7%9C%8C%E9%A3%AF%E5%B2%A1%E7%94%BA>) 海岸沿いの九十九里ビーチラインより1本北側の道路で、梅花精肉店、昭和シェル石油飯岡SS、竹屋精肉店の様子が映っています。

2011.03.15

13時 岩瀬 自・事一習志野市

11日は、午前中東京に出かけていましたが、地震発生時には自宅にいました。初めて体験するほどの大きな揺れでしたが、幸いにも我が家は無事でした。本棚や食器棚は固定していましたので倒壊することもなく物の落下も殆んどありませんでした。2階の娘のところでは、冷蔵庫の上においていたホットプレートが落下、ピアノが10センチほど移動しましたが、その他のものは大丈夫でした。地震発生直後に停電、ラジオで情報を聞きながら、表にでましたら、電柱の根元から土砂が噴出、液状化現象を始めてみました。大津波警報が発令され、東京湾にも2メートルの津波がくるといわれていました。我が家のある地域は、谷津干潟の水面より1~2メートルしかありません。どうしたものかと考えていましたら、近所の人たちが荷物を担いで避難をはじめたので、私たちが大慌てで荷物をまとめ京成線の北側の高台に移動しました。夕方の4時過ぎのことで、だんだん寒くなり近くにある谷津小に移動、そのまま一夜を過ごすことになってしまいました。福島相馬にいる娘となかなか連絡がとれず不安に思っていました。8時か9時頃にやっと携帯につながり家族みんなの無事が確認でき一安心しました。娘の家は海に近いところですが、高台にあったので助かったようです。すぐしたの海面に近い地域は津波で壊滅状態だそうです。翌朝8時ごろ、帰宅しました。食事と熱いお茶でやっと一息つきました。水道はチョロチョロ状態、電気は11時ごろガスは12時ごろ復旧しましたが、当日は余震がつづき、避難の準備をしながら、テレビ報道にくぎづけになり落ち着かない一日を過ごしました。翌13日午前中、町内の様子を見てまわりました。液状化による被害がほぼ全域に広がっていました。まず、電柱の陥没、傾き、電

線のたわみがほぼ全域、道路側溝部の液状化による土砂噴出もほぼ全域、道路の陥没、隆起が数箇所、家屋の傾きが3戸、ブロック塀の倒壊多数などなど狭い地域で多くの被害がでていました。写真もとってありますのでいずれ整理しようと思っています。相馬の娘家族をうちに避難させたいのですが、ここまでするガソリンがたりず、買うこともできず動きがとれない状態です。しかし、原発事故の影響がひろがってきていますので、いま相馬と連絡をとりながら何らかの対策を考え中です。まだしばらくは不安な状況が続きそうです。皆様にもくれぐれも注意してお過ごしください。

15時 鎌田 自一船橋市 事一東京都台東区

1. 自宅は船橋市の郊外、北総台地の地山の上に建つ中古住宅です。改修の実施設計をお願いした長房さんが直ぐに電話くれる程、耐震性能に欠けた家ですが、2階で少し物が落ちた程度の被害でした。周期の長い横揺れ、比較的安定した地盤、剛性に欠ける家が、幸いな方向に関係したのでしょうか。2. 周辺を見ると、屋根瓦の剥脱、大谷石塀の一部倒壊などが見られます。船橋駅周辺でも、同じような状態でした。3. お隣は屋根屋さんですが、150件程補修の依頼が来ているそうです。4. 浦安に義妹がいます。液状化は結構大変なようで、マンホールが2m浮き上がったり、砂が噴出して堆積、逆に周辺地盤が沈下してマンションの玄関に土嚢を積む、など。上下水道、電話が使えず、実質避難生活をしています。

中安さん：集められた情報は記録すると共に、整理して全国へ発信してはどうでしょうか。

18時 鈴木

県消防地震防災課のホームページに15日15時現在の県内の被害状況が載っています。下記はその一部です。県内でも全壊、半壊の建物がかなり多く、驚きました。皆さんからの情報では浦安や千葉市美浜区などで液状化に至る所で発生し、住宅が傾いたり、電柱が傾いたりしているとのこと。また、液状化した砂が乾燥して砂埃が舞い散っています。応急危険度の判定は県及び市の職員、建築士会の会員で行われているとのこと。東北地方には被災地ではない県からの判定士が応急危険度判定を行っているようで、すでに1万棟近くの判定がなされています。インターネットで「応急危険度判定協議会」を検索するとデータを見ることができません。新建千葉のホームページや会員の皆さんそれぞれのホームページなどで、改めて耐震診断など相談を受ける旨を載せるなどの対応ができるといいと思います。

記

千葉県総務部消防地震防災課 平成23年3月15日15時00現在 電話：043-223-3337

1 地震の概要

- (1) 発生日時 平成23年3月11日 14時46分頃(24時間制)
- (2) 震源地 三陸沖(北緯38度 東経142.9度)
- (3) 震源の深さ 24キロメートル
- (4) 地震の規模 マグニチュード9.0
- (5) 各地の震度
 - 〈震度6弱〉 成田市、印西市
 - 〈震度5強〉 東金市、旭市、神崎町、多古町、白子町、香取市、山武市、千葉市中央区、千葉市花見川区、千葉市若葉区、千葉市美浜区、野田市、佐倉市、習志野市、柏市、八千代市、浦安市、白井市、栄町、鋸南町
 - 〈震度5弱〉 銚子市、茂原市、東庄町、大網白里町、九十九里町、芝山町、睦沢町、長生村、匝瑳市、横芝光町、千葉市稲毛区、千葉市緑区、市川市、船橋市、松戸市、市原市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市、四街道市、八街市、酒々井町、富里市、館山市、木更津市、君津市、いすみ市、南房総市
- (6) 津波(3月12日13時50分すべて津波注意報に切替、3月13日7時30分 内房及び東京湾内湾の津波注意報解除、3月13日17時58分九十九里・外房の津波注意報解除)
 - 〈大津波警報〉 九十九里・外房、内房
 - 津波観測値(最大波) 銚子 2.4m、館山市布良 1.6m
 - 〈津波警報〉 東京湾内湾
 - 津波観測値(最大波) 千葉 0.9m

2 被害の状況

- (1) 人的被害
 - 死者 16名(野田市1名、習志野市1名、旭市12名、山武市1名、八千代市1名)
 - 行方不明者 6名 *行方不明者数は、千葉県警察の集計によるもので、現在確認中である。
 - 負傷者 170名(うち 重傷者 7名(市原市1名、船橋市1名、銚子市2名、佐倉市1名、柏市1名、白子町1名))
- (2) 建物火災 26件(千葉市18件、市川市2件、船橋市1件、鎌ヶ谷市1件、八街市1件、八千代市2件、野田市1件)
- (3) 建物被害、

全壊 371棟(市川市1棟、船橋市1棟、習志野市2棟、香取市22棟、旭市339棟、山武市2棟、横芝光町3棟、銚子市1棟)
半壊 243棟 (旭市164棟、香取市48棟、山武市15棟、栄町8棟、横芝光町5棟、松戸市2棟、匝瑳市1棟)
一部破損 7,693棟(船橋市2棟、習志野市6棟、柏市428棟、銚子市54棟、成田市17棟、香取市3,464棟、栄町548棟、東庄町625棟、茂原市7棟、山武市10棟、いすみ市5棟、印西市120棟、東金市6棟、旭市1,145棟、多古町422棟、市川市49棟、四街道市24棟、野田市213棟、酒々井町70棟、横芝光町99棟、松戸市31棟、我孫子市211棟、芝山町42棟、睦沢町1棟、長生村1棟、流山市20棟、匝瑳市61棟、富里市12棟)
床上浸水 466棟 (銚子市31棟、旭市83棟、山武市209棟、いすみ市6棟、九十九里町89棟、一宮町30棟、横芝光町14棟、匝瑳市4棟)、
床下浸水 206棟 (旭市31棟、山武市34棟、いすみ市13棟、九十九里町72棟、一宮町28棟、横芝光町21棟、匝瑳市7棟)

2011.03.16

11時 西沢

某社から、今回地震で被害を受けた建物の依頼が早速ありました。

参考までにお知らせします。

場所：横浜市 規模：10階建てマンション 構造：SRC 築年：昭和61年
平面：凹型で、E x p、2個所でジョイントされている。(計3棟となる)
形状：E x p、2個所でジョイントされている内、1棟が搭状型；DH比5を超えている。

状況：E x pが大破(全階に渡る床壁天井)

要因：2棟が4本柱で揺れやすく、耐震壁方向がXYそれぞれ違うために振動特性が異なった。地震時には上階程E x p部のずれが大きくなった。E x p最上階においてX方向に大きな開きが生じ、追従できなくなり、金物間の干渉が発生し脱落が生じた。水平方向に数センチの変位が生じたと思われる。

対応：入居者全員退去(E x p部は10数センチの間隙が全階にあるため危険故)

現在：当該建物は、ファンド物件のため、信託銀行用の調査報告書作成を依頼され、作成中。



16時 小島

飯岡町の様子を見てきました。九十九里町から飯岡町までの「九十九里ビーチライン」沿線で津波による被害に見舞われています。「かんぼの宿旭」はロビーの海側のガラスが破壊され、ロビー内部は砂まみれ。また、敷地内海側にあるコテージはも半壊状態でした。海岸沿いの遊歩道は、アルミの手すりがなぎ倒され、テトラポットに沿っておかれていた巨石が遊歩道の陸側に打ち上げられていました。隣接する干物の加工場は、波に押しつぶされて全壊です。

ビーチラインを飯岡方面に向かうと、三川地区あたりから悲惨な状況となり、波に押し流された車や、倒壊した家屋が並んでいました。特に飯岡荘を過ぎた、萩園地区から横根、平松、行内、飯岡、横根、下永井地区の被害は甚大でした。この地区の被害の様子は下記のアドレスにてご確認ください。

(<http://info-af.com/kaisaku/multisearch/m/キーワード/千葉%20地震%20被害%20動画%E3%80%80飯岡.html>)

15日15:00現在の旭市における被災状況は、死者12名、行方不明者3名、津波による家屋の全壊254棟、半壊139棟、一部損壊398棟。地震による家屋の全壊58棟、半壊25棟、一部損壊747棟です。また、避難している住民は581人です。

旭市の社会福祉協議会は災害ボランティアの受け付けを始めました。

(<http://www5.plala.or.jp/asahishi-syakyo/saigaiborannvorasen.html>) をご参照ください。

総武本線が不通のため、生徒が登校できていません。1名の生徒の家が地震により全壊したとの連絡があり、数名の生徒から床上浸水の被害があるとの連絡があります。総武本線が開通次第、生徒達と共に行動を起こす予定です。簡単ですが被害状況をまとめました(資料1)。ご覧ください。

20時 宇野 自・事一袖ヶ浦市

地震の報告をします。地震が来たときは、事務所で打ち合わせ中でかなり大きくゆれました。事務所は、大成パルコン・軽量コンクリートの箱で2m程道路より上に建っています。大きなゆれの割には周期が長かったようで、棚から物が落ちたり本棚が倒れたりすることはありませんでした。地震が収まるまで、応接室でお客さんと机にかじりついていました。すぐに、東京湾で津波が発生した場合に事務所にどんな影響があるのか心

配で、事務所の海水面からの高さを調べ、TVで情報を確認していました。この事務所は、長浦港より1km、海抜4m程度であると理解していますが、津波に事務所が襲われる恐怖感・不安感を味わいました。家内は、ガラスが割れて被害が拡大しないようにと津波に備えて事務所の雨戸を閉めていました。自宅は、事務所より4km程の内陸部にありますので特に被害はありませんでした。市原のコンビナート火災はテレビで知り、事務所の2階ベランダから遠く黒煙が見えました。市原市内に勤務する娘(子供の嫁)の話では、大きな爆発音がありガラスが割れたところもあったようです。私の周囲では現場で近日中に搬入予定のガラスが、浦安の液状化地域にありいつ入るか分からない、とか鹿島地区からの製品も津波の影響があるので分からないなどの話がありました。電車が不通で、道路は車のガソリンが無く、職人さん現場も苦労しています。病院では15日の夕方、東京電力による計画停電が実行され、自家発電設備を運転し必要な電力を供給していましたが、燃料がないと自家発電も出来ないの、街中のガソリン不足が気になります。16日(今日ですが)付き合いのある茨城の工務店から、「潮来市災害対策本部からのお知らせ」がFAXされました。潮来市で液状化による民家、電柱、下水道等のインフラ、に大きな被害が出て、特に、日の出地区については甚大な被害のようです。社長は、地震以来全く寝る暇も無く様々な救援活動をされやっと、本日事務所にいる事が出来た。とのことでした。倒壊した住宅に、応急危険度判定士(県職員)と同行し危険な住宅には赤紙を張ったようですが住宅の持ち主に、他にいくところが無いので困るといわれ住民と判定士の中に入り調整がたいへんであると言っていました。私も、14日、市役所より応急危険度判定士の袖ヶ浦市の班長になっているからそのつもりで準備してくださいと留守に伝言され人事ではないと考えています。まだ 余震が続き 原発もみとうしがつきません。今は、被災にあった方々に心よりお見舞いを申し上げるとともに早い復興を祈りたいと思います。私たちも、それぞれの地域で、防災に向け協力をしていきたいと思ひます。

2011.03.17

玉川・千葉市緑区

遅くなりましたが 私事で報告します。私の事務所は外房線の土気駅の近くにあります。地名はあすみが丘になります。地震がきた時は事務所でパソコンに向かっていました。このような揺れは今まで経験したことがなかったものですから、慌てて3階から1階の駐車場に所員と共に逃げました。地面の揺れ方はすさまじく、電柱や大きな木も激しく揺れました。ああこれで住宅は全て傾いてしまうのだなど(まだ住宅ローンが何十年も残っているのに)身の安全より住宅のことを心配しました。それから10分位駐車場にいまして、まわりの住宅が倒壊していないのを確認し事務所に上がって行きました。中の様子は、スチール製の本棚の天板にのせておいた本類や模型が床に落ちたくらいで、デスクや機械類は変わりなかったので安心しました。(片付けに10分位)あすみが丘周辺は、被害らしいのは確認できませんでした。千葉県も海側は被害があったようで、被害にあわれた方は、お気の毒です。

私は生まれが福島県なので、千葉より東北地方がとても心配です。津波が多くの集落を一瞬のうちに何もかものみこんで行きました。私の友達も連絡が取れません。それと心配なのは 原発の事です。関東の1/3の電力は福島の原発に頼っていることを皆さん知っておられるでしょうか。多くの犠牲の上で私たちが平穏に暮らしていただけることを。

話は変わりますが、昨日、浦安に行って液状化現象というものを初めて見てきました。この一帯は海を埋め立てて地盤を造っています。岩盤は50m位のところにあります。大きな建物は岩盤まで杭を打っているのですが地震が来ても平気なのですが住宅程度では杭など打っておりません。電柱が傾き道路と側溝に亀裂が入っていました。(写真添付します)そこにお住まいの3~4名の奥様達が、どこへ相談してよいか分からないと困っていました。「いつでもよかったら相談して下さい」と伝えて、名刺を渡してきました。新建のメンバーには優秀な方々が多いので、いざという時には皆さんで力になって差し上げましょう。

2011.03.19

8時 小島

香取市(旧佐原市)の被害は「液状化」による被害のようです。

香取市のHPに被害写真がUPされていました。

http://www.city.katori.lg.jp/saigai/saigai_photo.html

また、応急危険度判定につきましては、建築士会連合会のHPに以下のような記載がありました。

「3/12、千葉県青柳会長より連絡があり、千葉県からの要請で13日、香取市で300戸程度の応急危険度判定に行く旨、東京建築士会からの情報提供」応急危険度判定の結果も報告されています。(平成23年3月17日13:00)

<http://www.mlit.go.jp/common/000137959.pdf#search=> 応急危険度判定%20香取市'

	危険(赤)	要注意(黄)	調査済(緑)	合計	延べ班	延べ人員
成田市	21件	49件	32件	102件	36班	74人

佐倉市	6件	64件	92件	162件	19班	38人
旭市	26件	41件	65件	132件	6班	12人
印西市	4件	2件	8件	14件	4班	9人
香取市	149件	304件	340件	793件	4班	53人
栄町	15件	27件	47件	89件	7班	15人
東庄町	7件	8件	4件	19件	2班	4人
千葉県	228件	495件	588件	1,311件	78班	205人

これから佐原の様子を見てきます。

14時 小島

佐原の様子を見てきました。液状化による建物の傾斜が多数見られます。特に佐原中学校周辺の被害が大き

いようでした。佐原中学校の校庭は液状化で砂が吹き出したようです。それに伴い、地盤沈下が起こり校舎と地面



に50cm程の段差が生じています。

2011.03.20

17時 加瀬澤

3月18日(金)、臨時幹事会を開きました。参加者：鈴木、長房、大竹、小山、小島、鎌田、加瀬澤

●千葉県の被害状況等報告

○小島：15日午前中、旭市(旧飯岡町地区)の被災地に入り状況を見てきた。規模こそ違おうが三陸地方の被害と変わらない惨状。元禄時代の2メートルの津波とほぼ同程度か街中ではそれ以上の水嵩。地震後津波到来まで約10分。横波で破壊されるというより、じわりと押し寄せた水に基礎と土台を残して家が浮いてしまい、流されて破壊されている。周辺はオイル臭がひどい。全壊339棟、半壊164棟、死者12名。外房白里あたりまで浸水被害があった。銚子漁港では水産産業施設に被害が出ている。香取市(佐原)の液状化被害。(千葉から浦安の埋立地よりひどいかもしい。画像下記による)屋根瓦の落下多数。佐原旧市街、伊能忠敬旧宅も被害を受けた。http://www.city.katori.lg.jp/saigai/saigai_photo.html

震度6の割には成田は被害少なかった。

○長房、加瀬澤：千葉市の埋め立て地域は液状化による泥土の噴出による地盤沈下の影響で道路、外構破損が多数。住宅倒壊等の被害は見られないが、今後は傾いた家の改修が問題になってくる。千葉市の建築審査課がJSCA千葉の協力により住民向け説明会開催。200名ほどの会場にあふれる人が集まった。内容は家の傾きの計測方法と傾いた家の改修工法についての説明。参加者は高齢者が多かったがみな不安を抱えている。説明会は場所を変え各所で行われる。JSCAの迅速な対応が目立った。

○鈴木：18日時点の千葉県の被害状況を千葉県消防地震防災課資料により報告。

○鎌田：これまでの会員のメール発信をまとめた。事務局支部MLに発信してほしい。

●全国への対応

新建の義援金講座について、義援金の使途は会員読者で被災された方へのお見舞いと支援であると謳われている。被災者への直接支援という認識をしている会員もいるのではないかと。各自判断してほしい。

●他団体の対応

JSCAは積極的に対応しているがそれ以外の建築団体の動き鈍い。香取市建築士会は対応している。CSA(JIA千葉)では応急危険度判定士として県に協力できるメンバーを募集する旨連絡あった。ただし県内での応急危険度判定士の出番は終わっているのではないかと。

2011. 03. 20

● 新建千葉としての対応

千葉市の説明会に参加してみたが、多くの市民が家の安全性や改修についての不安を抱えていることがよくわかった。住宅相談に前向きに取り組むことを、新建千葉としてもアピールする必要がある。支部HPに相談に対応している旨を掲載し訴える。アピール文は加瀬澤作成し掲載する。

■ 以後の議論はメールにて交換し、24日臨時幹事会は行わない。次回会合定例幹事会(4月14日)

17時 加瀬澤

添付の文書をHPに掲載しますが、ご意見ください。連絡先を私のところにいたしました。

「この度の発生した未曾有の地震・津波により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

私たち新建築家技術者集団は、住む人使う人の立場に立ち、地域に根ざした建築活動を目指している建築家、技術者の団体です。この団体には設計者、施工者、研究者、行政職その他建築分野の様々な専門家が所属しています。

この度の震災により被災された皆様、あるいはお住まいの安全性や耐震性に不安をお持ちの皆様に、会員が電話により住宅の安全性、あるいは修繕や補強方法などについて、相談をお受けしています。状況により交通費程度のご負担をいただければ現地調査にも対応をいたします。ご希望の方は下記団体事務局までご連絡ください。 新建築家技術者集団千葉支部事務局 (株)ゆま空間設計 TEL: 043-253-8801 FAX: 043-253-8806」

23時 鎌田

大きな取り組みのひとつを強調して、初めての方に信頼感が感じられるように若干加筆しました。

「この度の「東日本大震災」で、未曾有の地震・津波により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

私たち新建築家技術者集団(略称: 新建)は、住む人使う人の立場に立ち、地域に根ざした建築活動を目指している建築家、技術者の全国的な団体です。新建には設計者、施工者、研究者、行政職その他建築分野の様々な専門家が所属しており、「東日本大震災」の被災支援に専門家として組織を挙げて取り組んでいます。

この度の震災により被災された皆様、あるいはお住まいの安全性や耐震性に不安をお持ちの皆様に、会員が電話により住宅の安全性、あるいは修繕や補強方法などについて、相談をお受けしています。状況により交通費程度のご負担をいただければ現地調査にも対応をいたします。ご希望の方は下記団体事務局までご連絡ください。」

2011. 03. 22

20時 加瀬澤

被災者への御見舞いと住宅相談への対応についてHPに掲載しました。ご確認ください。なお24日に予定した臨時幹事会は取りやめました。予定していた方はご注意ください。なお事務局長が不在でMLが会員を網羅しているか確認できません。気になる人には同送で送ります。MLで通じているようならその旨返信ください。

2011. 03. 27

16時 鎌田

中安さん。我孫子市の布佐地区で液状化の被害が甚大で全壊と認定された住宅が多数でいるようです。会員で状態に詳しい人はいないでしょうか?メールで呼び掛けて頂ければ幸いです。

2011. 03. 29

20時 高橋

「我孫子市布佐の液状化による被害が甚大」との報告から今日確認してきましたので、お知らせします。

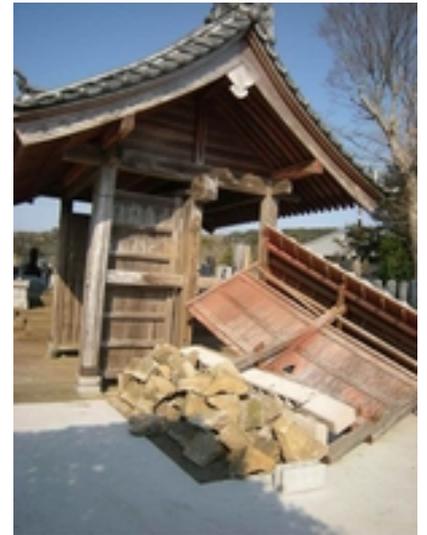
被害は、布佐地区の全域ではなく一部の地域に集中するかたちで地震による液状化が起きていました。その地域の特徴として、利根川と手賀沼の支流が合流して、両河川に挟まったような地形に位置しています。被害範囲として直径1kmくらいでしょうか。数十の住宅が、30~50cmの沈下や傾斜していました。倒壊はしていませんが、居住は無理そうです。新築で完成間近な住宅もありました。電柱、スーパーの看板なども大きく傾き、いたるところに乾いた噴出した砂が残っていました。道路は、復旧工事が進行中ですが住宅はほとんど手付かずの状況です。液状化現象は、浦安市の被害が大きく報道されていますが、我孫子市の被害もかなりのものでした。



2011.03.30

11時 小島

旭市飯岡町内陸部での液状化被害について報告します。旭市蛇園地区（添付地図参照）この地区の被害状況は追って報告いたしますが、まずは、築200年の普門院というお寺の修復に助言をいただければと思います。昨日(3/29)、液状化の被害状況を確認に現地に向かったところ、普門院の被害を知りました。住職と話したところ、住居ではないので「被災建築物応急危険度判定」の対象外であり、罹災証明の発行も対象外であると役所から言われた！との事。土葺き（どぶき）の屋根のため、余震の度に瓦が落下し、地震当日は開口部の開閉が出来ていたが、今は全ての開口部が開閉しないため、本堂内部には入れない状態であるとのこと。お寺の敷地内は液状化していないが、敷地周辺の地盤は液状化しており裏手の木造2階建て住宅は傾斜し黄紙が貼られました。また、俺らの駐車場横の畑では地割れが起り第2波の地震で地面より水と砂が吹き出したそうです。写真でもおわかりのように、屋根の崩落と建物が裏手の住宅方向にねじれています。敷地外への倒壊を心配し、住職は来週末(4/9頃)にも解体の準備をしているとのことでした。地区の顔である伝統建築を失うことを防げないのでしょうか？どなたか助言を頂ければと思います。新建千葉の皆さんのお知恵をお寄せください。



16時 小島

旭市での液状化による被害状況の一部を報告します。旭市では、大正6年頃から昭和45年頃まで市内の数カ所で砂鉄及び砂金の採掘を行っていたようです。その中でも、今回液状化の被害を起こしたJR飯岡駅周辺の蛇園地区には2カ所の大きな鉱山があったようです。その鉱山跡地で、液状化による建物被害が多く出ているようです。報告書を添付しましたのでご覧ください(資料2,3)。また、飯岡地区の津波被害の復興状況を見てきました。昨日までに7,172名のボランティアが869件の救援依頼に応じて災害復旧の手助けを行いました。しかし、未だに手つかずの家屋が点在し、被災家屋片付けに際して多くの問題があるように思えました。報告書をご覧ください(資料4)。

19時 西沢

これほどひどいとは思いませんでした。遠くにいると、被災された方々に申し訳ないが、傍観しているような気がしてなりません。ところで、築200年のお寺を解体するという事は、撤去と言うことでしょうか？あるいは、保存改修のための取りあえずの解体なのか、気になるところです。昔、大学院は建築歴史研究室でしたので、なんとなく他人事ではありません。是非とも既存のものを再利用しながら蘇生できることを願っています。地域の顔として、200年の歴史と記憶を継承できることを・・・

21時 稗田

27日、28日の二日間ですが、旭市で応急危険度判定に携わってきました。主に海岸に近い津波の被害の大きかった地域を担当しましたが、行き帰りに市内を見てきました。地図にある海上自動車教習所の向かいの家は私の姉の家です。蛇園地区は特に液状化が激しかったようで、姉の家も20センチほど不同沈下しています。姉からの相談を受けて、まず問い合わせたのはウレテックジャパンでした。資料が手元にあったのと、先日どなたかからの紹介もあったのでとりあえず概算の依頼をしました。その後、元JRの技術者だった義兄からダブルロック工法を紹介されました。阪神でたくさん使われた工法だそうです。JRの関係で東鉄工業の方が教えてくれたそうです。早速ホームページで確認しましたが、べた基礎や布基礎なら使えそうな印象を持ちました。小島先生からの普門院がどのような基礎になっているか分かりませんが使えれば解体、再建よりは安く済むのではないのでしょうか。ダブルロック工法で検索するとかなり分かりやすく解説しています。

2011.03.31

10時 長房

仲間からの情報です。ご参考まで。放射性物質の拡散予想（ドイツ版）です。<http://www.dwd.de/>

16時 鈴木

液状化による被害の補修方法について、JSCA千葉のホームページ（「JSCA千葉」で検索するとアクセスできます）に概要が掲載されています。この資料は、千葉市主催による美浜区での説明会に使用された資料です。JSCA千葉の方々が震災後すぐに、実際にこれらの工法による補修の実績のある会社の担当を呼ぶなどにより、調査を行ってまとめたとのこと。大いに参考になりそうです。ただし、液状化の被害のあった建物において、上記の補修をしても、揺れに対する補強にはならないので、耐震補強は必要になりますね。小島さんからの報告や写真からは、液状化による被害ではなく、地震の横揺れによる被害に見えるのですが実際はいかがなのでしょう？あの地域での震度は、5強だったので屋根の重い普門院の被害はあり得ると思いますし、千葉県内でも屋根瓦の落下や破損は、液状化の起こっていない地域でもかなり生じているようです。一定の補修をした上で、形状や機能を損なわない範囲で、制震用の金物の使用や壁面を増やすなどによる補強ができるといいのでしょうか・・・

2011.04.01

9時 成岡

西沢さんがおっしゃっているように、写真を見ると、構造部材等はまだまだしっかりしているようなので、解体撤去はもったいないと思います。復旧には、時間とお金がかかると思いますが、是非保存復旧の方向で検討されてはいかがでしょうか。伝統木構造の会でも、要請があれば、協力できるよう働きかけてみます。小島さん、まずは住職さんを説得してください。

10時 鈴木

インターネットを見ていたら、千葉県及び千葉市のホームページに地震被害を受けた方々への支援制度の概要が書かれたものがありました。住宅相談などで活用できそうです。それぞれトップページから簡単にアクセスできますが、下記を張り付けても・・・

千葉県

<http://www.pref.chiba.lg.jp/bousai/press/h22/kakushu-shien.html>

千葉市

<http://www.city.chiba.jp/shimin/shimin/bosai/0327shienseido.html>

11時 小島

ご助言ありがとうございます。残念ですが、普門院の解体撤去が4月10日（日）より行われることが決まりました。民家様式のお寺で、この地に移築して100年が経過しています。屋根裏を覗かせていただきましたが、多くの「ほぞ穴」があり、転用材であることが見受けられましたが、大変立派な部材で一部ほぞ部分に隙間等が生じていましたが、十分再生に耐えうる材料であると説得したのですが、このお寺の修復費用を負担することになる「多くの檀家さん達もまた被災者である」現実が背景にあります。土葺屋根の被害が大きく、この撤去費用が今の時期であれば無料で旭市の被災家屋等の瓦礫集積場に持ち込めることにより、解体処理費用を本堂新築の費用に充てられることが解体撤去、新築へと決断した要因のようです。解体撤去後は、簡素な建物でも地区の高齢である檀家の皆さんが使いやすい建物に新築したいとのことでした。古民家再生部材としては大変魅力的な材料があります。興味のある方は、4月10日（日）9:00より解体の儀式が行われますので、お立ち寄りいただければと思います。大変残念ですが、このような結末となりました。ありがとうございました。

12時 長房

小島様。3年ほど前に、南房総市の築170年ほどの茅葺古民家の耐震改修計画をしました。屋根：茅葺 厚450mm(棟付近)～800mm(軒先付近) 壁：貫+小舞+土 床：石場建

伝統木造建築物の耐震方法について調べ、制震系の下記の材料が良いかと判断して計画しました。ご参考になれば幸いです。

- ・仕口ダンパー <http://www.anden-tokyo.co.jp/shikuchi01.html>
- ・仕口ダンパー社寺改修事例 <http://www.anden-tokyo.co.jp/construction/index.html>
- ・荒壁パネル <http://www.anden-tokyo.co.jp/arakabe01.html>

15時 長房

友人からの情報です。我々が今知りたい情報が良くまとめられています。ご参考まで。
KARTH地震ネットの2011年東北地方太平洋沖地震

<http://karth-tohoku.sblo.jp/>

<http://karth-tohoku.sblo.jp/category/1114091-2.html>

応急仮設住宅の建設状況（国土交通省住宅局）

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/jutakukentiku_house_fr_000035.html

2011.04.05

18時 稗田

皆さまの参考になればと思います。

旭市飯岡の私の姉の家が液状化で不同沈下したことは以前お知らせしました。修復のために情報を集めて、見積りをとりましたので参考にさせていただきたいと思います。と、いっても2か所だけです。

一つは、ウレテック工法です。図面を送って状況を知らせましたら、耐圧盤でジャッキアップとウレテック工法の組み合わせで、¥12,000,000の見積り、明細はなく合計のみです。詳細を聞こうと問い合わせしていますが担当者から連絡が入りません。

もう一つが、ダブルロック工法です。関東と東北が一つのエリアになっていて、山形の米沢の業者が対応しています。工法についてはホームページを参照願いたいと思いますが、土中にセメント系の急結材を注入する工法で、地盤の深い部分と建物直下の2重にするらしい。名前の由来かもしれませんが確認していません。深い部分の処理もするので次の地震に対する地盤改良を兼ねることになるそうです。見積りは¥6,600,000。依頼すれば調査をするがこれ以上にはならないだろうとの事。米沢からの出張になるので、空振りはずらいから、¥100,000先に振り込んでくれれば2～3日中に調査するとの事。これに決まりそうです。ダブルロック工法の方はかなり自信を持っています。アンダーピンニングで建物の自重を利用して杭を打ち込む工法など、自重が軽すぎて支持層まで届かせることは出来るわけがない、など、経験に基づいたキツイことを言います。

長くなってすみません。ご参考に。